

2013 12/10

No.1960

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
— 神奈川政経懇話会 —



第33回横浜マラソン大会が1日、山下公園前をスタート、山下ふ頭にゴールするコースで行われた。男女の10<sup>キ</sup>ロードレースに5939人が参加。市民参加型のフルマラソン「横浜マラソン2015」の開催が決まり、現在の形では最後の大会。



<b>視点・点描</b>	3
「追い風」生かし発展期待	
<b>経 済</b>	4
ビッグスリー復活の兆し 破綻で人件費削減効果	
<b>経 済</b>	6
地域、産業別で大きい温度差 経営者が見る東京五輪	
<b>企業最前線</b>	8
医療周辺分野に商機 物流、照明など体制強化	
<b>くらし2013</b>	10
うつ病に伴う体の痛み	
<b>広告珍談</b>	12
～うまい物がたり⑳ ショウユだと？	
<b>NNAアジア経済レポート</b>	13
<b>会員のページ</b>	14
ミャンマー経済セミナーの開催報告 会員の動き	
<b>会員のページ</b>	15
2013年度国内視察研修会の報告	

### 事務局だより

#### ◇横浜定例講演会

2013年12月11日（水）

13時30分～15時

崎陽軒 5階「マンダリン」

講師は神奈川新聞社論説主幹の中嶋 弘孝氏、共同通信社政治部長の鈴木 博之氏、同社経済部長の谷口 誠氏、同社外信部長の藤井 靖氏

演題は「2014年の動向を読む」

#### ◇横浜定例講演会

2014年1月29日（水）

14時～15時30分

横浜情報文化センター 6階「情文ホール」

講師は全日本柔道男子監督、東海大学講師の井上 康生氏  
演題は「夢への挑戦～私の柔道人生」

# 視点 点描



## 「追い風」生かし発展期待

互直通運転である。横浜高速鉄道みなとみらい線、東急東横線、東京メトロ副都心線、東武東上線、西武有楽町・池袋線の5路線が1本で結ばれ、乗り換えなしで埼玉県と横浜市中心部を行き来できるようになった。川越をはじめ埼玉の人たちがMM21地区の観光を楽しむ姿が目立つ。

もう一つは「MARK IS みなとみらい」の6月開業だ。映像施設、レストランなどが人気を集めている。東京ガス横浜ショールームクッキングスタジオの料理教室には、たくさん申し込みがあるという。みなとみらい駅の改札口を出てすぐ、マークイズ店内に入られることも「とても便利」と客から好評だ。

MM21地区は11月、事業着工から30年を迎えた。この「追い風」をぜひ、生かしたいものである。

経済状況に翻弄されながらも変わり続け、企業集積地、国際観光地、商業地、住宅地と多彩な「顔」を生み出してきたが、まちづくりはまだ道半ばだ。さらなる発展を遂げることを期待したい。

ただ、企業誘致は順風満帆とは言い難い。ビジネス情報の集まる首都東京から本社を呼び込むことは思うように進んでいない。2020年の東京五輪開催決定を受け、都心で再開発の機運も高まっている。

ことし1月、経済部を担当するようになり、取材や会合で横浜・みなとみらい21（MM21）地区を訪れる機会が増えた。これまでより、人の往来が多くなったように感じている。

どうやら勝手な思い込みではないようだ。横浜高速鉄道によると、昨年4月から8月までの利用者は6駅合計で約2655万人だったのに対し、ことし4月から

8月までの利用者は約2942万人で、約1割増えている。特に顕著なのはみなとみらい駅。ことし8月は昨年8月と比べて3割を越す人が利用している。これだけみなとみらい線の利用者が増えていけば、MM21地区がにぎわうのも当然であろう。これには二つの要素が「追い風」となっている。

一つは、3月16日に始まった相

（神奈川県新聞社経済部長

石曾根 剛）



# ショウユだと?

幼いころに聞いたことばは、い  
つまでも耳に残っている。  
リスボンハッドウメイ、何のこ  
とか分からなかった。少し大きく  
なって「リスボン発・同盟」と知っ  
た。つまり同盟通信のニュースで  
ある。ポルトガルの首都リスボン、  
この音楽的なひびきは、いまでも耳  
の奥深くにひそんでいる。

マカオでポルトガル料理を食べ  
た。同行の物知りが、カステラも  
コンペイトーもザボンも、テンプ  
ラもバツテラもパンも、ヒヨウズ  
もポーロも、ぜんぶポルトガルか  
ら渡ってきた。つまりポルトガル  
語だと聞かされた。

ふうーんと感心していると、オ  
ルガン、カップ、カルタ、カルメ  
ラ、カンテラ、キリシタン、コッ  
プ、サボテン、ジバン、ジョウロ、

チャルメ  
ラ、トタン、  
バテレン、  
ビーダマ、  
ビードロ、  
フラスコ、  
ブランコ、  
ボタン、ラ  
シャなどな  
ど、どれも  
これもボル  
トガル語だ  
と、物知り  
博士はつづ  
けた。  
支払いに  
なつてマネージャー(ポルトガル  
語ではなさそうね)が、しょうゆ  
注ぎを指してボクにウインクス  
した。ポルトガル語では、こうい



と教えたかったらしい。  
しょうゆを英語では (Soy  
sauce) ソイ・ソース  
フランス語では (Sauce de

soja) ソース・ドウ・ソジャ  
イタリア語では (Salsa di  
soja) サルサ・デイ・ソイア  
ドイツ語では (Soja soesse) ゾヤ

ゾーゼ、というそうだ。  
ポルトガル語ではこういうと、  
覚えておけばよかった。こんな広  
告がある。

「ショウユ? シリマセン」  
「キッコーマン シツテマス」  
しょうゆは知らなくても、  
キッコーマンなら知ってる。  
うまいなー、まさに万国的調味  
料と認められた自信が、こう書  
かせたにちがいない。イラスト  
は、キッコーマンのイメージを  
確立したといえる大橋正。  
キッコーマンは創業当初、「亀  
甲万」といった。亀甲は地元、  
下総の香取神宮(鹿島神宮とと  
もに軍神として尊崇)の山号「亀  
甲山」に由来する。亀甲のマー  
クは香取神宮のご神宝「三盛亀  
甲紋松鶴鏡」から図案化され、  
「萬」の字を入れたという。  
(美術エッセイスト、茅ヶ崎市在住)  
(図) キッコーマンの広告・昭和  
30年代の掲出